

平成30年度（通期）
指定管理施設管理運営状況報告書

施設担当課： 都市活力 部 産業振興 室 まちなかにぎわい 課

1. 基本情報

1102

施設名	伊丹市立観光物産ギャラリー		
施設の設置目的	観光物産事業の振興を図る。		
伊丹市総合計画（第5次）における関連施策	政策目標： にぎわいと活力にあふれるまち 施策目標： 個性とにぎわいあるまちづくり 主要施策： 伊丹都市ブランド戦略の推進		
指定管理者の名称	伊丹市観光物産協会 (団体の住所又は所在地) 伊丹市宮ノ前2-2-2		
選定方法（公募・非公募）及び指定期間	非公募	平成 26 年 4 月 1 日 ～ 平成 31 年 3 月 31 日	
管理運営上の目標 (管理運営の指定管理者の具体的目標)	指標名	来場者数 (単位： 人)	
	指標の意味	年間来客者数	
	今年度の目標値	39,000	今年度の実績値 36,527

2. 利用状況

利用状況等の推移		H17※	H26	H27	H28	H29	H30(上期)	H30(通期)
	来館者数(人)	18,338	30,159	28,899	30,545	37,427	19,298	36,527

※H17年度は、指定管理者制度未導入。

3. 経費情報

	区分	平成28年度(2016)	平成29年度(2017)	平成30年度(2018)	3カ年平均
収入	使用料収入	0	0	0	0
	事業収入	25,919	27,572	27,833	27,108
	その他	8,528	8,901	8,498	8,642
	指定管理委託料	9,070	8,845	9,330	9,082
	①合計	43,517	45,318	45,661	44,832
支出	維持管理				
	光熱水費	2,510	2,385	2,758	2,551
	清掃等委託料	1,229	1,739	1,857	1,608
	土地建物賃料	33	24	25	27
	修繕料	386	318	315	340
	運営				
	人件費	8,127	8,433	8,653	8,404
	事業等経費	31,138	31,706	32,009	31,618
	その他	94	0	0	31
	指定管理納付金	0	0	0	0
	②合計	43,517	44,605	45,617	44,580
純収支(①-②)		0	713	44	252

施設の管理運営に係る実質経費(市の負担)※ 〈単位:千円〉		H25	H26	H27	H28	H29	H30
	市の収入	0	0	0	0	0	0
	(内、使用料収入)	0	0	0	0	0	0
	市の支出	5,524	8,729	8,731	9,070	8,845	9,330
	(内、指定管理委託料)	5,524	8,729	8,731	9,070	8,845	9,330
実質経費(歳出-歳入)		5,524	8,729	8,731	9,070	8,845	9,330

※施設建設等に係る市債償還などの経費は、支出に含んでいません。

4. 業務評価

評価項目		評価結果			
		指定管理者自己評価		施設担当課評価	
		評価	特記事項	評価	担当課所見
管理体制等に関する事項	維持管理業務の実施状況	館内の清掃を定期的実施し、常に清潔に保たれているか。	A	館内の清掃は毎日、また保守点検は決められた時期にそれぞれ業者に委託して実施。修繕は不具合の発覚直後に実施している。	館内清掃は行き届いており、清潔に保たれている。また、保守点検、修繕を適宜実施できている。
		保守点検等は、協定書・仕様書に基づき適切に実施しているか。	A		
		備品等は、台帳を整備し適切に管理しているか。	B		
		修繕業務は、市と適宜協議しながら適切に実施しているか。	B		
		環境に配慮した施設運営に取り組んでいるか。	B		
	職員配置などの実施体制	館長等、必要な職員の配置をおこなっているか。	B	シフト制による人員配置で適切に運営。事務局長が防火管理者の資格を取得済み。	限られた職員でローテーションを行い、適正配置に努めている。
		職員研修は、計画どおり実施しているか。	B		
		防火管理者等、管理にあたって必要な資格を持った職員を適正に配置しているか。	B		
運営等に関する項目	防犯・防災対策への取組状況	緊急時の連絡体制は整っているか。	A	緊急連絡網は常時機能させている。防火訓練、避難訓練は定期的実施。	適正に実施されている。
		避難訓練を実施しているか。	B		
	サービス向上への取組状況等	サービス向上や利用者増へ向けた取り組みを行っているか。	A	POPを工夫しわかりやすい展示に努めている。年二回はアンケートを実施し利用者のニーズ把握に取り組んで居る。	受付での観光案内業務を適切に実施されているほか、イベント等の情報発信を行い、市内インフォメーションの周知に努めている。
		利用者の意見を施設運営に反映する仕組みを確立しているか。	A		
		苦情・トラブルに対し、適切・迅速に対応しているか。	A		
		特定利用者を優遇したり、理由もなく利用を制限している事例はないか。	A		
	事業等の実施状況	指定管理者として実施すべき事業は、計画どおり実施しているか。	B	予算不足が課題だが、創意工夫でカバーしている。	効果的な事業展開が行われている。
		施設の設置目的を達成するための効果的な事業展開がなされているか。	B		
	個人情報保護・情報公開への取り組み	各種申請書類等は、適切に保管しているか。	B	ホームページをフル活用、30年度にはイベント欄も新設し市外からの誘客に努めた。	適正に実施されている。
		利用者情報などの電子データの取扱は、適切に行っているか。	B		
		ホームページの作成や広報紙等を活用した情報提供を積極的に行っているか。	A		
	収支の状況	収支計画に基づき、適正に運営しているか。	B	商工会議所内の事務局とも連携し適切な会計処理に努めた。	予算の執行及び帳簿類の保管は適正になされている。
		経理処理は、適切に行っているか。	B		

「評価」欄の記号の意味

「A」＝協定書・仕様書等の水準を上回っている。

「C」＝協定書・仕様書等の水準を満たしておらず改善を要する。

「B」＝協定書・仕様書等の水準を満たしている。

「－」＝当該項目での評価対象外。

施設所管課総評	総合評価 B	来場者数が前年度比で1,000人弱減少し、目標値を達成することはできなかったが、事業収入は若干ではあるが増加した。

「総合評価」欄の記号の意味

「AA」＝非常に良好である又は非常に成果があった。

「B」＝取組状況の水準が普通である。

「A」＝良好である又は成果があった。

「C」＝改善すべき点が見受けられ、改善を要する。

☆利用者満足度調査(アンケート)結果と対応【実施期間】平成30年8月1日 ～ 平成30年8月31日

実施の有無	主な回答	主な対応
有り	＜清掃＞ 「入りやすく、普通の店のように見ていたらすぐに売りつける様なところが多いが、ここは違います。」 ＜職員の接客態度＞ 「品物についての説明もして下さりうれしいです。」 ＜その他＞ 「時々寄らせてもらう度に楽しくなります」「県外に行くときのお土産にしたいと思います!!」「朝早くは観光物産開くのは無理なのですか」	入りやすい、品物の説明が丁寧との声は以前から多く、適切な観光案内環境を構築している。 開館時間は条例で定められており、容易に変更することはできないが、今後の要望次第では他事例などを参考し、検討をすることも必要と考えられる。
回答者数		
41		

5. 改善指摘事項等

市からの指摘事項	指摘事項に対してとられた措置